

この心得は、共生舎・スタディラウンジむろらんに通塾される方やその保護者様に対し、心がけていただきたいことをあげたものです。これらをご理解いただき、楽しく通塾されることを望むものであります。

・教室五か条…自主創造、自主自立

1. 塾生は、ひとりひとりが教室の主人公であり、スタッフはコーディネーターである。
2. 塾生は、スタッフとともに、皆が快適に学べる学習空間を共に創造するものである。
3. 塾生は、自ら進んで教科書やテキストの内外に学びを求めるものである。
4. 塾生は、学習内容や時間配分を自らの判断で決定できるものである。
5. 塾生は、自らの学びの成果を、良い悪いにかかわらず、自らで受け入れるものである。

<解説>

学びには「動機」や「関心」が大切ですが、これらは誰かに押し付けられて得るものではなく、自分でしか見つけられません。講師を含む周りの人間はすべて「きっかけ」でしかなく、納得した上で学んでいかなければ、表面的には「優等生」であったとしても、いつかほころびができてしまいます。

当塾では、自分の望む人間像に近づくために、「講師－生徒」の関係だけではなく、「個人－個人」の関係、すなわち塾生の個性・特性をしっかり受け止めた上で、何が必要とされるかを、ひとりひとりにしっかりとお伝えしたいと考えます。

また、教育制度も、机の上の学びだけではなく、実社会を意識した「アクティブラーニング」が2020年の学習指導要領より導入される見通しにあります。このことは、お子さんよりもむしろ大人のかたに、なぜこうした世の中の変化が起きているか理解し、従来の価値観にとらわれてばかりではいけないということを示唆するものとなるでしょう。

このことから、当塾では、自らの求める学びを、リラックスして柔軟な発想で得られるよう、通常学習塾が課すべきと考えられる制約は、ほとんど課しておりません。むしろ、本棚にはテキストはもちろん、知的好奇心をくすぐるような書籍を置いておりますし、電子機器はICTによる教育の推進と考えているため、Wi-Fiも解放しております。商業のリアルな姿をお見せできると考えているため、小売りスペースもあります。飲食も自由で、精神的にはかなり気軽に学びにアクセスできるものと考えます。

集中して学びたい方には、これらの自由な環境は「誘惑」や「邪魔」にしかならないかもしれません。しかしながら、世の中に出ると、こうした「誘惑」などがたくさんある中で、学習だけではなく、生活すべてに対して、自らが優先順位を付けて行動しなければなりません。しかも、人や環境のせいにしてしまうと、なかなかそれは認められません。それを早い段階から味わうかもしれない…そういった意味では「一番厳しい塾」になるかもしれません。

スタッフも、出来る限りのことはいたします。

ともに、新時代に向けて、あらゆる学びについて考え、高め合いましょう。

・創造性のある学びのために

1. 自分自身をよく知るように心がけましょう。

どういったときにやる気が出るか、または手を抜きたくなるか、癖を知っておくと自分のコントロールに結びつきます。

2. わからないことは、自ら積極的にスタッフにたずねましょう。何度たずねても大丈夫です。

しかし、試験に臨むときは、「自分自身との闘い」となることを忘れてはなりません。

3. 「その時わかる」ことと、「いつでもわかっている」ことの違いを理解しましょう。

いわゆる「勉強」のみならず、何事も、たった一回ですべてを理解することは難しいので、反復継続を忘れてはなりません。

4. 「自分がテキストや教材を作る側だったら？」ということも、たまには考えてみましょう。

自分が教える側になったり、作る側になったりすることは大変ですが、きちんとした理解に結びつきます。

5. みなさんの発案によるイベントの発案・実施を歓迎します。

スタッフからもイベントを提案・実施しますが、みなさんと共に創り上げることも可能です。

ぜひ、いっしょに楽しい教室づくりをしましょう。

・その他事項

1. スタッフは、「あれをしなさい」「これをしなさい」と細かく指示することは、基本的には行いません。

しかし、必要に応じて指示を出すこともあります。

ただ指示を守るだけではなく、指示の意味も考えるようにしましょう。

2. みなさんで使う教室です。設備や備品は大切に扱きましょう。

3. 当塾は住宅地域と商業地域が混ざったエリアにあります。夜間は外で騒がないようにしましょう。

4. テキスト・プリント等は、塾生のみなさんのために用意するものです。断りなく転用しないようにしましょう。

5. 緊急の際などは、スタッフの指示に従うようにしましょう。

*この塾生等心得は、平成29年1月4日より適用します。この日以前より在籍の塾生等に対しても適用されます。